



Creating My Future

新たな歩みへ

副校長 新田 英樹

3月16日(木)に76回目となる卒業証書授与式が執り行われました。アフターコロナの考え方のもと本校では、児童及び一部の職員がマスクなしで臨むこと、学年合同で行うこと、保護者を2名まで出席可能とすること、来賓を招くこととし実施に至りました。多くの皆様のご理解とご協力により滞りなく終えることができました。あらためて感謝を申し上げます。

さて、この卒業証書授与式を通して、私自身あらためて感じ、今後に向けて何をどうすればよいか考えたことを記載させていただきます。

1 感じたこと → 素晴らしい卒業証書授与式であった

- 卒業生の晴れやかな顔を見たり、大きな声の返事を聞いたりすることができた。
- 多くの保護者や来賓に見守られた式であったために、児童からは、とても厳かな雰囲気が出され、「強く・明るく・正しく」が体现されていた。
- 卒業生が祝辞を聞いている場面では随所に「うなずき」が見られ、卒業生の心に響いているのだなあと感じた。

2 今後に向けて → 「アフターコロナにおける新たな歩み」をしていく必要がある

- 一人一人の子供たちが、より一層のパフォーマンスを発揮できる場を設けていく。
- 保護者の皆様や関連する方々(大学・附属校園など)と対面型でコミュニケーションをとることができるようようにする。
- コロナ禍で見直した物事を再度見直し「すべきこと・しないこと」を決め、推進する。

一方、保護者の皆様には、昨年度初めにコンセプトを「不易流行」とし、学校に関わるすべての人が、校訓「強く・明るく・正しく」を指し、「やりとげた喜びいっぱい また明日!」を実感する学校を目指す、と提案させていただきました。皆様よりいただいた学校評価を見ると種々の取組について「概ね満足」ということがわかりました。誠にありがとうございます。

本校の不易は「子供のために研究推進に取り組む学校」です。そして、児童が「学びの主体者」になる教育を推進することです。これらは、正直コロナ禍により少しトーンダウンする時もありました。また、今後もコロナはなくなることはなく、状況に応じてまだ注意が必要なおことはあることでしょう。ですが、令和5年度からは違います。上記の2にありますよう「新たな歩み」をしていきます。

そのために、学校は次のことを進めていきます。

- (1) 「子供のために研究推進に取り組む学校」、児童が「学びの主体者」になる教育の推進を継続します。
 - (2) 多くの人が集まれる学校とします。
※場所に合わせる・大きな声を出さない などありますが…。
 - (3) 子供のために考える時間を確保するために「働き方改革」の取組を継続します。
※会議・研修時間確保、現在に即した行事等の見直し、ICT活用、留守番電話システム
- そこで、(1)～(3)を達成するための令和5年度のコンセプトを次のとおりとします。

「温故知新(おんこちしん)」

～子供たちがたくさんの人から応援を受け、やる気に満ちあふれる学校～
【意味】昔の物事を研究し吟味して、そこから新しい知識や見解を得ること。

詳細に関しましては次年度はじめに皆様へお伝えします。学校は子供のために邁進し続けます。そのためには、保護者の皆様のご理解とご協力が必要となります。今後ともよろしくお願いいたします。



始業式について

4月6日(木) 通常登校 11時下校予定



3, 5年生はクラス替えが行われます。児童玄関に氏名と出席番号を掲示しますので、掲示にある学級や出席番号を確認し、新しい鞆箱にケースを入れるよう指導しています。詳しくは各学年の通信等でのお知らせをご覧ください。なお、来年度から、ジェンダー平等意識の育成および男女共同参画の観点から、男女混合名簿を採用いたします。クラス替えのない学年でも出席番号が変わりますのでご注意ください。

また、新学期からの登下校に関わり、安心・安全な登下校にするため、春休み中に登下校時のバス時刻やバス系統、通学路の確認をお子さんと一緒にしていただけますよう、お願いいたします。

今までありがとうございました！～退任される職員の紹介～



若竹 淳一 先生

10年間の本校勤務を経て、教頭先生として松前町立大島小学校に赴任されます。

10年間大変お世話になりました。元気いっぱい、いつも前向きに集団としてできることを追究していく子供たち。そんな子供たちの背中をそっと押してくれる保護者の皆様。子供たちの成長をそれぞれの方法で促す教職員。学校に関わる多くの方々に支えられて過ごすことができました。

新天地でも、「附属の応援団」として、皆様の活躍を願っています。どうもありがとうございました。



酒谷 明子 先生

9年間の本校勤務を経て、教頭先生として、七飯町立藤城小学校に赴任されます。

9年間、本当にお世話になりました。たくさん成長させていただいた9年間でした。この9年間は、子供に寄り添うということ、ご家庭から支えていただくということの真の姿を学ぶことのできた時間となりました。

これからは、附属小学校で学ばせていただいたことを、赴任校の子供たち・地域・保護者の皆様に還元し、「日本を拓く」子供たちを共に育てていけたらと思っております。

9年間、本当に幸せな毎日をごさせていただきました。ありがとうございました。



安彦 有里恵 先生

7年間の本校勤務を経て、函館市立鍛神小学校に赴任されます。

7年間お世話になりました。毎日、みなさんのあいさつや明るい笑顔にたくさんの元気をもらいました。附属小学校の校訓である、「強く・明るく・正しく」にむかって毎日の勉強や仕事に取り組む姿勢はたくさんの人たちを勇気づけ、たくさんの人たちに力をあたえてくれました。先生もたくさんの元気と力をもらいました。そんなみなさんと過ごすことのできた7年間は、私にとって宝物になりました。

これからも、附属小学校ですごすことができる時間を大切に、「強く・明るく・正しく」にむかっていってください。これからもみなさんを応援しています。7年間ありがとうございました。



渡邊 敬夫 先生

11年間（計22年間）の本校勤務を経て、ご退職されます。

「老兵は死なず、消え去るのみ」今の私の心境です。22年もの間、附属小に勤務できたことは私の誇りであり、その間の数々の教育活動での思い出は、私の宝物となりました。子供たちと別れるのは、本当に辛いのですが、これからは陰ながら、附属小を応援したいと思います。長い間、本当にありがとうございました。



能代 かおり 先生

2年間の本校勤務を経て、八雲町立八雲小学校に赴任されます。

2年間という短い期間でしたが、子供たちのキラキラ光る姿をたくさん発見させていただきました。学習に向かうとき、桐スポや桐発でのがんばり、素直で明るく真っ直ぐな瞳。いずれもキラキラしていました。今後も応援しています。保護者の皆様、大変お世話になりました。



若林 千裕 先生

1年間の本校勤務を経て、新採用として函館市立柏野小学校に赴任されます。

今年度、ICT支援員としてお世話になりました。1年間という短い期間ではありましたが、全学年、全クラスの皆さんと学び、遊び、様々な場面で関わることができ、とても充実した日々を過ごすことができました。皆さんに教えることよりも、皆さんから学んだこと、もらったものがたくさんあります。それらを胸に、4月から函館市内の小学校の先生として、がんばっていこうと思います。少し離れた場所から、今後の皆さんの学校生活を応援しています。今までありがとうございました。また、どこかで。



～本校ホームページをぜひご覧ください～



本校HPでは、様々な活動について紹介しています。「学校生活」には子供たちの様子を、「PTA活動」には各部の活動の様子を掲載し、広く情報を発信しております。不定期で更新いたしますのでお時間があるときにご覧いただきますとともに、お知り合いの方にもぜひご紹介ください！

